

区民調査項目一覧

項目	前回調査	今回調査	意図
回答者自身に対する項目について			
性別	1	1	クロス集計を行う際の分析軸として活用する。
年代	2	2	
居住地区	3	3	
職業	4	4	
同居家族	5	5	
文京区に対する愛着	6	6	各設問回答の肯定的評価をアウトカム指標として把握する。
文京区の定住意向	7	7	
文京区への来訪推奨意向	8	-	
5分野に関する関心の有無	9	-	今回の調査では、各分野での「関心層」「無関心層」を明確に把握するために、下記の提案のとおり、各分野で関心度合いを把握するため削除する。
近所の人とのつながりの有無	10	-	地域とのつながり度合いは問11で把握するので、回答者の負担軽減のため削除する。
区内に住む人とのつながり度合い	11	8	地域とのつながり度合いを把握する。
生活満足度	12	9	アカデミー推進計画の各分野の行動をしている人ほど、満足度が高いことを確認し、それぞれの分野の意義を示す。ウェルビーイングと捉える。
スポーツに関する項目について			
スポーツ分野への関心	-	10	分野別に関心度を把握する。
過去1年間におけるスポーツ実施の有無	13	11	スポーツ実施率を算出し、国や都と比較する。また、他分野との関連を把握する分析軸とする。
スポーツの実施頻度	14	12	
スポーツの実施場所	15	13	区内施設の利用状況を把握し、割合が低ければ課題として設定する。
スポーツの実施状況に対する満足度	16	-	指標としての活用可能性が低いことから削除する。
実施しなかった理由	17	-	主な理由は、政策で対応すべき項目（時間的・金銭的制約等）ではないことが想定できたため削除する。
今後実施したいスポーツ	18	14	ニーズを把握する。
スポーツの観戦状況	19	15	観戦率を算出できるため分野別の指標に活用する。
スポーツボランティアの実施状況	20	16	実施率を算出できるため分野別の指標に活用する。
パラスポーツの関心の有無	21	17	関心のある割合は分野別の指標に活用する。
スポーツを楽しむ人が増えるための重点的な取組	22	18	「参加しやすい機会」「ライフステージ別の機会」「人・団体」「施設」「情報」に分類し、施策を検討するために活用する。
スポーツ推進施策における満足度・重要度	23	-	分野別目標の達成状況の分析に活用する。最後の分野間連携に移動する。
文化芸術に関する項目について			
文化芸術分野への関心	-	19	分野別に関心度を把握する。
過去1年間における文化芸術の鑑賞の有無	24	20	文化に食文化を含むという観点から、選択肢を追加した。
文化芸術の鑑賞場所	25	21	オンライン・オンデマンドでの文化芸術への接触状況を把握できるように選択肢を追加した。また、あわせて文化芸術の定義を一部修正した。
文化芸術の鑑賞のきっかけ	26	22	「主体的な鑑賞」と「外部の刺激による鑑賞」の割合を把握し、施策や事業を検討するために活用する。
文化芸術の鑑賞状況に対する満足度	27	-	指標としての活用可能性が低いことから削除する。
文化芸術を鑑賞しなかった理由	28	-	主な理由は、政策で対応すべき項目（時間的・金銭的制約等）ではないことが想定できたため削除する。
今後鑑賞したい文化芸術の分野	29	23	ニーズを把握する。
創作・発表等、文化芸術の活動の有無	30	24	文化芸術を「支える」観点からの選択肢を追加した。
障害者アートへの関心	-	25	（担当課、協議会委員からの要望）
文化芸術の活動に参加しやすい取組	31	26	活動者を増やすための施策や事業を検討するために活用する。
区内文化財の期待される活用方法	32	27	区内の文化財の活用方法を把握する。
地域の文化活動への関わり度合い	33	28	「鑑賞」「参加」「支援」の3つの視点で分けて実態を把握する。また、「支援」の割合はボランティアの活動率として類推する。
文化芸術に親しむ人が増えるための重点的な取組	34	-	旧問31と内容重複のため、新問26に内容を寄せて修正した上で、こちらの設問は削除した。
文化芸術推進施策における満足度・重要度	35	-	分野別目標の達成状況の分析に活用する。最後の分野間連携に移動する。
文化芸術施設の認知状況	-	29	文京ふるさと歴史館、森鷗外記念館の認知度を把握する。
学習活動に関する項目について			
学習活動分野への関心	-	30	分野別に関心度を把握する。
過去1年間における学習活動の学習状況	36	31	学習している人の割合を算出できるため分野別の指標に活用する。（公財）文京アカデミーが主催するアカデミア講座のテーマを包含する。
学習活動の方法	37	32	どのような手段で学習機会を創出するか検討するために活用する。区の施設の利用状況を把握する。
学習活動の理由	38	33	「自分自身」「他者」「地域」のどのために学んでいるのかを把握し、施策や事業のニーズとして捉える。
学んだ内容への満足度	39	-	指標としての活用可能性が低いことから削除する。
学ばなかった理由	40	-	主な理由は、政策で対応すべき項目（時間的・金銭的制約等）ではないことが想定できたため削除する。
今後学びたい分野	41	34	ニーズを把握する。
学習活動で学んだ内容を活かしたかどうか	42	35	学びの成果を地域に活かした経験（学びの還元率）を把握する。
学びを地域に活かすために力を入れるべき取組	43	36	学びの成果を地域に活かすために必要な取組を把握する。
学習活動を行う人が増えるための重点的な取組	44	-	旧問43と内容重複のため、新問36に内容を寄せて修正した上で、こちらの設問は削除した。
学習活動推進施策における満足度・重要度	45	-	分野別目標の達成状況の分析に活用する。最後の分野間連携に移動する。

区民調査項目一覧

項目	前回調査	今回調査	意図
観光に関する項目について			
観光分野への関心	-	37	分野別に関心度を把握する。
観光客に対して文京区を紹介したいかどうか	46	38	紹介したい度合いを算出できるように分野別の指標に活用する。児童・生徒の場合、「紹介したい」との回答者には、児童・生徒目線からみた具体的な区内の推しを自由回答してもらうことも考えられる。
観光客が増えることに対する良いこと	47	39	経年変化を確認できるように選択肢を前回調査と揃えている。
観光客が増えることに対する不安	48	40	オーバーツーリズムの現状を把握する。
観光振興のために必要な取組	49	41	重要視されている観光振興施策を把握する。
観光ボランティアの活動意向	50	42	ニーズを把握する。また、ボランティアの希望率を算出する。
区民が活用すると良いと思う観光資源	51	43	活用する観光資源を探索的に調べるために尋ねる。
海外・国内の観光に関する情報入手方法	52	-	旧問65と内容重複のため削除した。
観光振興施策における満足度・重要度	53	-	分野別目標の達成状況の分析に活用する。最後の分野間連携に移動する。
国際交流・国内交流に関する項目について			
国際交流・国内交流分野への関心	-	44	分野別に関心度を把握する。
海外の姉妹都市の認知状況	56	49	認知度を算出できるように分野別の指標に活用する。
国際交流のためのイベント等への参加経験	-	50	国内交流の設問設定と揃えるため追加する。
国際交流のためのイベント等への参加意向	58	51	ニーズを把握する。
国際交流の推進に向けて力を入れるべき取組	57	52	「情報提供」「交流機会の創出」「文化の紹介」「支援制度の充実」の視点で分けてニーズを把握する。
区内における外国人との交流状況	54	-	指標としての活用可能性が低いことから削除する。
区内における外国人との交流機会の充実度	55	-	設問54（前回調査設問59）と一部設問内容が重複するため削除する。
国際交流推進施策における満足度・重要度	59	-	分野別目標の達成状況の分析に活用する。最後の分野間連携に移動する。
国内の提携都市の認知状況	60	45	認知度を把握する。
国内交流のためのイベント等への参加経験	61	46	参加率を把握する。
国内交流のためのイベント等への参加意向	-	47	国際交流の設問設定と揃えるため追加する。
国内交流の推進に向けて力を入れるべき取組	62	48	重要視されている国内交流を促進するための施策を把握する。
5分野を横断的に関することについて			
東京2020大会開催決定により形成されたレガシー	63	-	情報の重要度が前回に比べ低下していることから、削除する。
東京2020大会開催後に期待するレガシー	64	-	
4分野（観光除く）における情報入手経路	65	53	今回は観光も含め5分野における情報発信方法を検討するために活用する。
5分野におけるボランティアの充実に必要な取組	66	-	ボランティアを含め、新たなプレイヤーの獲得については、大学生調査の調査結果を活用することが考えられるため削除する。
5分野が個人にもたらす効果	67	-	5分野が区民および文京区にもたらす効果は、アンケート調査結果から区民の評価の高低で判断するものではないと考えるため、優先度は低いと判断し削除する。
5分野がまちにもたらす効果	68	-	
各分野の施策における重要度・満足度	-	54	回答のしやすさを考慮して、各分野での満足度・重要度を1設問にまとめ、ポートフォリオ分析時にも、全分野を俯瞰して分析できるように統合する。

小中学生調査項目一覧

問No	項目	意図
1	学年	クロス集計を行う際の分析軸として活用する。
2	文京区のことを好きかどうか	区民調査では「文京区に対する愛着」の設問。子ども目線で文京区に愛着があるかどうかを把握する。
3	過去1年間での体験状況	子どもの体験状況を把握する。
4	スポーツ分野への関心	区民調査と比較する。
5	(学校の授業以外) 過去1年間におけるスポーツ実施の有無	スポーツの実施率等を、区民調査(大人)と比較する。
6	スポーツの実施頻度	
7	パラスポーツの関心	
8	文化芸術分野	子どもの文化芸術への関心度、接触状況を把握する。
9	過去1年間に見て楽しんだことがある文化芸術	
10	障害者アートへの関心	
11	文京区の楽しい場所やおすすめを紹介したいかどうか	児童・生徒目線でみた場合、推奨意向がどの程度あるのかを把握する。
12	紹介したい場所	
13	日本国内の様々な地域について興味あること	国内地域について興味のあることを把握する。
14	外国の子どもとの交流機会を増やしたいか	外国の子どもとの交流意向を把握する。
15	外国の子どもとの交流機会として期待する方法	外国の子どもとの交流機会として期待する方法を把握する。

高校生・大学生調査項目一覧

【本調査の狙い】次期計画での事業におけるプレイヤーとしての参加可能性と、若い世代に響く事業展開に必要な視点等を把握する。

問No	項目	意図
1	性別	クロス集計を行う際の分析軸として活用する。
2	高校生か、大学生か	
3	【高校生の場合】学年	
4	【大学生の場合】学部・専攻分野	
5	文京区と関わる（通学、居住、活動等）ようになった時期	
6	文京区の特徴だと感じるもの	特に問3とのクロス集計により、「2 入学を機に」との回答者が、どのような文京区にどのような魅力を感じているのかを把握する。
7	「文京区ならでは」と感じる魅力や、「こんなものがあるんだ!」と気づいたこと	
8	5分野に関わる主な区の事業の認知・参加経験、参加意向	学部・専攻分野と各分野の施策・事業との現時点での関わり具合と今後の連携・協働の可能性を把握する。
9	若い世代により参加してもらうために必要な工夫	区の関連事業等における若い世代での担い手不足解消につなげていくためのアイデアを把握する。
10	若い世代が「これなら参加してみたい」と思えるような、活動の形態や情報提供の方法のアイデア	

事業参加者調査項目一覧

項目	前回調査	今回調査	意図
今回利用した施設や場所	-	1	各施設や場所、事業の評価を把握する。
今回参加した事業		2	
性別	1	3	対象者のプロフィールを把握。回収サンプルサイズにもよるが、一定数確保できている場合には、クロス集計軸として活用する。
年代	2	4	
参加した事業内容又は来館施設への満足度	3	5	事業実施によるアウトカム指標として活用する。
参加した事業内容又は来館施設の認知経路	4	6	今後の事業実施時における情報発信媒体の選択に際しての参考資料とする。
5分野に関する関心の有無	5	-	5分野の意識・行動層別の分析は区民で行うことから、回答者の回答負担軽減を優先して、重要度が若干本設問は削除とする。
東京2020大会開催決定により形成されたレガシー	6	-	
5分野の施策展開に対する重要度	7	7	区民と同様の聴取形式とすることで、区民との意識差異を把握する。
5分野の施策展開に対する満足度	-		

※施設、事業は一体で聴取。